

オープンイノベーションサロン

ソリューションに繋がる気軽な交流サロン

研究者とサロン形式にて、気軽にクロストークをしながら、その使い方や分析方法、現在の利用状況などについて深掘りしてご紹介いたします。



トークテーマ バイオものづくり のみらい

ご登壇

15:00~15:20

名古屋大学次世代バイオマテリアル拠点

講師：名古屋大学 未来社会創造機構 次世代バイオマテリアル拠点 室長 林 修 氏

！！中小企業やスタートアップ企業の皆様、是非ご活用ください！！
2021年度からスタートした文部科学省の事業である「マテリアル先端リサーチ（以下、ARIM）」についてご紹介いたします。本事業は、10年にわたって実施してきた「ナノテクノロジープラットフォーム（以下、ナンプラ）」の後継事業となります。ナンプラでは大学や研究機関が保有する分析機器や評価機器の一部を企業も含めて非常に安価に広く活用していただきました。ARIMではナンプラの基盤を十分に生かしつつ、データ収集・利活用という新しい視点を加え、2030年度まで新しい取り組みにチャレンジいたします。

15:20~15:50

名古屋大学・シンクロトン光研究センター

講師：名古屋大学 シンクロトン光利用研究部門 特任准教授 櫻井 郁也 氏

瀬戸市にある放射光施設、あいちシンクロトン光センターのビームラインBL8S2で、放射光を利用したX線CT装置の運用と測定試料の内部構造観察を行っています。
X線CT測定は、試料内部の構造を可視化し、三次元的に評価することで試料内部の製造欠陥や内包物質の形態や分布・分散等の情報を得る事が可能な測定手法です。講演では、ビームラインで運用しているX線CT装置の説明と測定例、利用方法の紹介を行います。

15:50~16:20

独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE） バイオテクノロジーセンター

講師：製品評価技術基盤機構（NITE）バイオテクノロジーセンター 上席参事官 川崎 浩子 氏

NITEバイオテクノロジーセンターは、世界最先端のバイオエコノミー社会の実現に向けて、保有する世界有数の約9万株にも及ぶ微生物遺伝資源を活かしたバイオとデジタルの融合のためのデータ基盤を構築し、我が国の生物資源関連データの一元化、流通促進とデータの利活用を通じた新たな価値創造を図っています。近年は、カーボンニュートラルやSDGsなど、持続可能な社会の実現に向けて、再生可能な新素材を生み出す「バイオものづくり」の推進にも取り組んでいます。

16:20~16:40

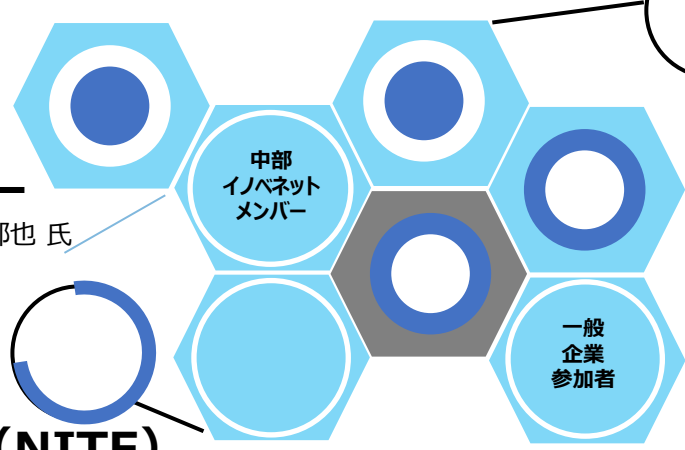
株式会社東洋発酵

講師：株式会社東洋発酵 研究開発部 部長 平松 直人 氏

(株)東洋発酵は1984年の創業以来、食品と化粧品分野において発酵技術を用いた機能性素材の開発を行っています。天然物の有する機能を無限の可能性を秘めた微生物の力によって変換させ、従来の機能性を高めたり、新たな機能性を産み出したりすることで付加価値を創造してきました。今回は、そのバイオ技術を活用した2つのモノづくり事例についてご紹介させていただきます。

16:40~17:00

登壇者・参加者クロストーク



バイオテクノロジーとは生物の持つ能力や性質を上手に利用し、健康・医療、食料・農林水産、環境・エネルギーといった人間の生活や、環境保全に役立せる、人類に欠かれない技術です。

バイオイメージング（英：Bioimaging）は細胞・組織または個体レベルでタンパク質などの分布・局在を捉え、その動態を画像として解析する技術のことです。

今回のサロンでは、バイオの取組に関して、研究者・コーディネータをお招きして、ご紹介いたします。

デザイン：pch.vector / Freepik

2023年2月27日(月) 15:00 ~ 17:00

会場：名古屋駅前イノベーションハブ・オンラインZOOM

(ウインクあいち15F 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38)

定員：会場 30名・オンライン 100名（当日のみアーカイブはなし）

（お申込み締切 2月24日（金））

【事前登録制】申込フォームからお申込みください ⇒

【アドレス】 <https://forms.gle/Gd38sJX83PchQ8Xk9>

会場・オンラインZOOM開催

